

2026 年 7 月 21 日

生徒・保護者の皆様

卒業生ならびに関係の皆様

いのちの日について(お知らせ)

法政大学中学高等学校

2016 年の学校事故から 10 年がたとうとしています。ここに、改めて心より哀悼の意を表します。この先もずっと、あの事故の記憶を心にとどめるため、7 月 22 日を法政中高の「いのちの日」としております。

当時高校 1 年生だった男子生徒が、クラブ活動中の事故により、亡くなりました。夏休みに入って間もない日の朝、彼は元気に学校に登校しましたが、事故により家に帰ることができませんでした。

ご家族の願いは、二度と悲しい事故を起こしてほしくないということです。そして万が一事故が起こったとき、そこにいる誰もがためらうことなく AED を使うことができるような救命救急スキルを身につけてほしいということです。事故そのものを起こさないことを大前提にした教育活動をめざすのはもちろんのこと、誰もが勇気をもって、命を守るために行動することができるように、機会をつくり訓練を積むことで安全な未来を作りあげていきたいと思います。

中庭の追悼の碑には「互いを思いやり、安全な学校生活をめざして」と刻まれています。互いの存在を認め合い、尊重するという意識を常に持ち、生徒、保護者、卒業生および関係者の皆さまと協力し、教職員一丸となって安全性の向上に努め、二度と同様の事故がおこらないように教育活動を行っていきます。

学校事故を記憶にとどめ、そこから得た教訓を共有する場として、命日に「追悼の集い」を行っております。当日は、ラグビー部関係者のみが碑に集い、そのほかの生徒や関係者に向けては放送を行います。生徒のみなさんは、7 月 22 日に登校している場合は放送に耳を傾け、それぞれの場所から静かに黙祷を捧げてください。登校していない方は、いのちの日のいずれかの時間に、それぞれの場所から彼のことを思ってください。

追悼のことばについては、本校 HP の中学生・高校生のページにアップいたしますので、ご覧ください。